

○●○●○ (町会) 夕陽会便り ○●○●○

2017年2月20日発行(33号) 夕陽会広報部

品川区防災協議会の区内「避難所訓練」に参加して

12月11日(日)(10:00-11:30)、品川区立第四日野小学校(夕陽会地域の災害時の指定避難所)において避難所訓練が行われました。第四日野小は大崎第一地区の町内会のうち周辺の6町会が対象で、夕陽会はそこに属しております。訓練内容は、避難所の開設・運営・備蓄品の把握等を行い、地域防災力を高めることを目的としております。

夕陽会代表として、椎野・佐久間・奥村・柳澤の理事4名が参加、以下のように行われました。

- ①避難所開設の立ち上げ訓練(町会単位)
- ②避難者名簿作成訓練(町会単位)
- ③同校の**小学生**も参加しての避難訓練(小学校)
- ④物資配給訓練(参加者)
- ⑤夕陽会の避難スペース：**教室1-1・2、体育館**
- ⑥備蓄品は、第四日野小学校の三階
- ⑦「地域防災」についてのビデオを観て**減災**(災害は避けられないが災害を初動で最小にする)・自助・共助等々に関し学びました。



※再度、町会の皆さんへの確認です。

- ①夕陽会の避難場所は、第四日野小学校。 かむろ坂スーパー「オオゼキ」の道路を隔て反対側です(目黒線・不動前駅西側すぐそば)。緊急時には通用門の鍵が解放されます。
- ②**災害時、自宅に居られない状態になった時に、同校が「避難所」になります。**
 - ・何かご質問等がございましたら、何なりと今回の参加者にお問い合わせください。

(記述：防災担当 柳澤)

・・・・・ 町会スケジュール ・・・・・

- | | | |
|-----------|---|--------------------------|
| 3月 中旬 | ： | 夕陽会理事・監事募集 |
| 4月 10日(月) | ： | 2016(平成28)年度 最終役員会 |
| 4月 17日(月) | ： | 夕陽会理事会(街づくり協議会総会に続き) |
| 4月 24日(月) | ： | 夕陽会総会・懇親会(18時~20時30分香港園) |
| 5月 8日(月) | ： | 2017(平成29)年度 第1回役員会 |

4月は町会の理事・監事改選期です。自選・他薦歓迎!

募集期間：3月11日(土)～20日(月) 【届け出先：西会長】
電話：3491-8541 E-mail:h.nishi@marunishi-jpn.com

減災意識向上のためのアピール①

(文責：佐藤至弘)

防災・減災に関する情報はTVや雑誌にあふれ、熊本地震以降も新しい知見が提示されて、『もうたくさん』という方も多いと思いますが、実行されなければ何の価値もありません。

たまたま筆者は友人から、横浜市の南笠野台の町民有志の1年間余の減災活動記録を入手する機会を得ました。衝撃を受けたのは、論議を重ねた後に実行に移されたその行動力です。下記2点が要点です。

被災直後の『安否確認活動』 が最重要

『自分の命と自分の町は自分たちで守る』 その覚悟と仕組みづくり

ベッドタウンという点で町会の置かれている環境は異なりますが、参考になる点が多いと感じ、その活動記録を自由に編集し記事にする許可を得ました。これを参考に筆者の大震災の経験も踏まえ、独断と偏見で意識向上のためのメモを連載します。(この際、津波・洪水・崖崩れは配慮せず)

食料や水を用意していても命がなくなれば全くの無駄。ちなみに死者・行方不明者は、阪神淡路大震災6,400余名、東日本大震災18,000名余、熊本地震110名。東日本は大津波の発生、熊本は人口密度が低かったことを考えると、当地域の減災は阪神淡路が一番参考になると思います。

神戸市の当時の調査では、震災後15分以内に亡くなられた人が90%を超えたと記述されています。一方、建物の下敷きになり助け出されず凍死した方も多いとか。火災も多数発生。また60歳以上の死者が多いのも特徴です。古い木造家屋に住んでいたためと推測されます。

命あってこそ → 食べる(水・食料) → 下から出る(便)

【自宅内の3大リスク】

- ① 家具転倒……下敷死、怪我、脱出口閉鎖、通電火災(ストーブを倒すなど)
- ② 火災…………震災後の火災原因の大半は『通電火災』
- ③ 落下物………棚から重いものが落ちてきて身体を直撃(置物、花瓶、本など)
ガラスや陶器の破片による足裏の怪我

1. 寝室対策①

筆者は神戸のマンションで、早朝の地震に遭遇。当初、何が起こっているか全く理解できず、ただただベッドにしがみついているだけでした。起震車の机は固定されており床からずれませんが、現実の震度7では寝ているベッドは、床の上を滑り上下に踊りました。揺れている間、机の下に身体を隠すなど全くできません。眠っているときは何の対応も不可能なうえ、人は1日の内1/3近い時間を寝室で過ごすわけですから、寝室対策が最優先といえます。

家具を置かない!

背の高い家具を絶対置かない!

家具転倒防止を徹底!

◆あなたを守る防犯カメラ◆

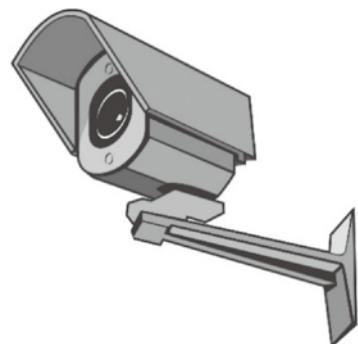
2009年8月にカメラ10台で稼働し始めた夕陽会の防犯カメラシステムは、池田山町会が寄付を募り自主的に設置したことに触発され、取り組みました。幸い街づくり協議会の活動趣旨にもあい、都と区から2/3の補助を受けて実現しました。その後、品川区より目黒川沿いの地域を面としての防犯を強化するため、「近隣町会が協力して広域に防犯カメラを設置してほしい」と要請を受けました。それに応えカメラを増設し、現在、町会の11ヶ所で17台の防犯カメラが稼働しております。

昨年1年間にわが国で発生した犯罪の容疑者特定のきっかけが防犯カメラに映った画像であったケースが多いとの報告もされており、防犯カメラの有用性は高まっております。夕陽会においては、防犯カメラによる抑止効果等もあり幸い大きな犯罪は発生しておりません。これまでに年に数回程度、車の接触事故等に警察から画像情報の提供依頼があり、該当情報を提供しております。

夕陽会の安心・安全な街づくりの一助を担っているこれらの防犯カメラシステムも、最近は老朽化等の事由で一部録画機等に故障が発生します。その都度修理・交換等により、安定稼働に対応してまいりました。

品川区では、7年を経過した防犯カメラの新規カメラへの交換については、交換費用の6分の5を補助する制度が設けられました。今後、夕陽会ではこの制度を積極的に利用して、設置から7年を経過した防犯カメラの交換を進め、防犯カメラシステムの質的向上と安定稼働に努めてまいります。

(記:佐久間 雅良)



●火災予防業務功労者の表彰式（2016年11月15日）

夕陽会の日頃の火災予防に取り組む姿勢を評価していただき、東京消防庁品川消防署長より表彰されました。ゲートシティウエストタワーで行われた表彰式には、今井達郎理事が出席。大きな額入りの表彰状は資機材倉庫の壁に掲げられています。

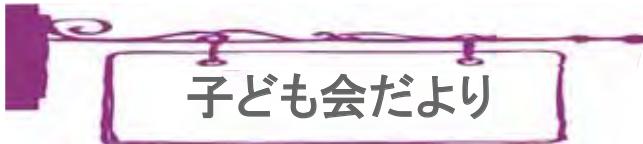
●清掃車からの火災発生防止の協力お願い

- ・スプレー缶・カセットボンベ・使い捨てライターのゴミは、中身を使い切って、穴を開けず、陶器・ガラス・金属ゴミとして出してください
- ・「中身の見える袋」に入れて下さい
- ・中身が残っている場合は、袋に「中身入り」と書いて下さい

教会での野菜販売 第一日曜日午前

この度は町内会誌に当法人の活動を掲載して頂きまして誠にありがとうございました。
お陰様で、12月4日の販売には10名様以上の方々がおいで下さいました。
これを機会に福島の農産物をご愛顧頂ける方が一人でも増えましたら嬉しく存じます。
本当に福島のためにご尽力を頂きまして心から感謝申し上げます。（以下略）

感謝と祈りのうちに やぎぬまちかこ（NPO法人 福島やさい畑～復興プロジェクト）



恒例のクリスマス会、子ども会のイベント初参加の親子3組を含む、**17組53人**の親子が集まりました。(会場はマンション雅叙苑スカイラウンジ)
今年は初めて子どもたちによる「チーム対抗クイズ大会」を開催。0歳児から小学生まで、「足じゃんけんゲーム」などで盛り上りました。

ドレスメーカー学院の寺西さんによるバルーンアート、サンタさんとの記念撮影、そして毎年大好評の抽選会も。ご協力いただいた目黒雅叙園様、坂本様、他たくさんの皆様に、心より感謝いたします!

(記:洪 愛舜)



子ども会に遊びにきてね★

夕陽会地域にお住まいの親子なら、**どなたでも**子ども会のイベントにご参加いただけます。2017年度も楽しいイベントを開催予定です。まずはメールにてご連絡ください。

送り先→meguroyuhikaikodomo@gmail.com

QRコードでもメールを→→→→→→→→

送信できます→→→→→→→→→→→→→→



◆喜多能楽堂見学会

(2016年11月24日)



本物の能面をつけてもらう見学者

まずは客席で能楽師の方から歴史や芸能としての性格などを、わかりやすく解説して頂きました。三名の楽師による楽器の実演では、鼓の分解と組み立てを学びました。その後普段見られない「鏡の間」から舞台に上がり、能面の試着、装束の説明などもありました。

最後は舞台上から「羽衣」の舞を見学し、参加者から沢山の質問にも丁寧にお答え頂きました。1時間半のツアーがあつという間に過ぎ、能樂への興味を高める催しとなりました。

せっかく町内に名高い能楽堂があるのでから、是非一度足を運ばれることをお奨めします。
(七沢 基)